

事務局責任者協会  
**協会だより**  
 2019.12  
 Vol. 25  
 発行 千葉県中小企業団体  
 事務局責任者協会  
 千葉市中央区富士見2丁目  
 22番2号  
 千葉中央駅前ビル3階  
 千葉県中小企業団体中央会  
 経営支援部内  
 TEL 043-306-3282  
 FAX 043-227-0566

## 組合運営・企業経営研究会

令和元年7月2日(火)三井ガーデンホテル千葉「飛鳥」において、「組合運営・企業経営研究会」を開催しました。

今回は、「2019年4月施行！働き方改革関連法セミナー」と題して、社会保険労務士の浅山雅人先生に講演をいただきました。

浅山先生は、働き方改革で優先すべき事項として以下の2点を示されました。



①有給休暇を5日以上取得できる体制の整備

・業務効率化

手書きによるデータ管理などをITシステムに置き換える、惰性で続けられている日報などの業務を廃止する、属人化されている業務を標準化する等

・有給休暇や半休制度の計画的活用

企業側が主体的に業務を管理し、従業員に休む機会を与える等

・就業規則の見直し

慶弔休暇や夏季休暇などの特別休暇の付与等

②労働時間把握義務への対応

紙のタイムカードや押印をするだけの出勤簿をクラウド型の勤怠管理ソフトに置き換える等

厚生労働省が、働き方改革の目的について「投資やイノベーションによる生産性向上」を掲げている通り、働き

方改革と生産性向上は渾然一体です。言い換えれば、単純な労働時間の規制や時間あたりノルマの引き上げだけでは、単なる見掛け倒しであり、働き方改革にはなりません。最優先に考えるべきは、不要な業務を放置せずに整理し、必要な業務は標準化と効率化を図ることで、生産性を向上させることです。その上で、従業員の労働時間を正確に把握し、休暇の取得を促進することが、労働環境の改善に繋がります。

また、労働時間把握義務が、労働基準法ではなく、労働安全衛生法に定められたことから、働き方改革が従業員の健康管理にとって重要性を持つことは明らかです。生産性の向上と労働環境の改善を両輪で図り、企業と従業員の双方ともが旧態依然とした働き方から脱却し、成長出来てこそ、正しい働き方改革であるということが改めて納得できる内容となりました。

## 秋のハイキング 酒蔵「飯沼本家」見学

本協会会員の交流を図るために毎年実施している秋のハイキングは、今年で11回目を迎え、今回は10月5日に、印旛郡酒々井町内にある、日本酒甲子正宗を醸造する蔵元「飯沼本家」で酒造蔵の見学を行いました。

飯沼本家では、酒と食の関係を大切にし、無形文化遺産である和食との相性を考えた酒造りに努めていること、若い人たちに清酒を楽しんでもらいたいとの思いから、若い醸造家に現場を任せ、酒造りの態勢を整えていることなど、伝統を守りながらも未来志向の挑戦を続ける酒造りを行っています。

また、飯沼本家直営の「酒々井まがり家」も併せて見学しました。酒々井まがり家は新潟県「旧清野邸」を移築再生した建物です。周辺には豊かな自然があり、裏手からは隣山まで遊歩道が続いています。

飯沼本家には、酒造りだけでなく、酒蔵の周辺の観光や、酒の肴までを開発・販売していきたいとの思いがあるとのことでした。甲子正宗のブランドと共に、千葉、酒々井を発信地として複合的な価値の提供を目指すという、お酒と同じく上質な心意気に、ほろ酔いながらも身の引き締まる、有意義な時間となりました。



組合の紹介

# 千葉県自転車軽自動車商協同組合

事務局長 秋山 日出夫

【組合概要】

所在地：千葉県千葉市中央区赤井町

919番地2

電話：043(266)3221

FAX：043(266)3230

設立：昭和42年3月6日

理事長：山口 道博

出資金：10,287,000円

組合員：322名

業種：自転車小売業等

事務局：4名

URL：[http://www.chukokai-](http://www.chukokai-chiba.or.jp/cycle/)

[chiba.or.jp/cycle/](http://www.chukokai-chiba.or.jp/cycle/)



自転車組合外観

【設立】

本組合は、第二次世界大戦時に、物資の円滑な調達と国民経済の安定をはかる為、政府及び都道府県の指導のもとに価格統制をかねて設立された、千葉県自転車リヤカー商協同組合が前身となっています。その後、千葉県統一の組合組織設立の気運が盛り上がり、昭和42年3月6日千葉県自転車軽自動車商協同組合として設立されました。

【組織】

現在の組合は、理事長1名、副理事長2名、専務理事1名、理事17名、監事2名の合計23名の役員で構成されています。

【組合事業】

組合員の取り扱う自転車及び部品にあつせん、購入及び販売②自転車安全利用促進のための点検・整備事業③組合員の事業に関する協定④事業資金の貸付け及び借入⑤経営及び技術の改善向上を図る教育及び情報の提供⑥組合員の福利厚生を主な事業として取り組んでいます。

【組合事務局から一言】

私たちが普段から利用する自転車に

ついては、平成6年「自転車の利用者は、利用する自転車について防犯登録を受け付けなければならない」との法律が制定され、施行されております。当組合は、同年に千葉県公安委員会より自転車の防犯登録を行う指定団体として認可され、当組合員の自転車店だけでなく、大型自転車店や量販店等で購入される自転車を対象に、防犯登録の実施・充実に努めております。

また、自転車の防犯登録とともに、TSマークの拡充にも努めています。TSマークとは、自転車の点検・整備を行い、安全な自転車であるという証として貼付し、自転車搭乗者の傷害補償、第3者への傷害に対する賠償責任補償の付帯保険のついた制度です。

この様に、当組合では自転車の安全利用に関する様々な要望に、主体となつて邁進してまいります。



自転車技士・安全整備士試験の様子

## 組合活性化策等 検討会

11月18日(月)に本協会、千葉県中小企業組合士会、千葉県中小企業団体中央会との共催による組合活性化策等検討会を開催しました。

今回は、「組合内の企業を継続させるための事業承継について」をテーマに事業承継センター株式会社代表取締役で中小企業診断士の石井照之先生に講演をいただきました。

講演では、国内企業の約3分の2が後継者不足の課題を抱えているにも関わらず、事業承継の具体的な手順については理解が広まっていないとして、対応策についての説明が行われました。

注目すべきポイントは、事業承継という複雑な課題について、以下のように





に細分化して解決を図ることで、問題の発生を抑えた、円滑な承継が可能になるということです。

① ソフト面の対策

- ・経営者と後継者候補、他の従業員との認識のズレを防ぐため、後継者選定について明確な話し合いを行う。
- ・土地建物など事業に必要な資産の円滑な承継のため、相続人を含めた話し合いを行う。
- ・経営者が事業を存続させたい理由や、経営理念を言語化する。
- ・経営者の事業承継に対する思い、事業のリソースを正しく理解したうえで、後継者の将来ビジョンを言語化する。

・事業承継というゴールを定め、引退予定日を決める。

② ハード面の対策

- ・財産（土地、建物など）、経営権（株式など）の帰属を明確化し、企業と個人の所有を切り離して、承継のために整理する。
- ・情報資産（ブランド、顧客など）を精査する。
- ・事業承継計画書を作成する。
- ・経営承継円滑化法等を活用する。

また、円滑な事業承継は、企業の更なる成長を促進することにも繋がると、石井先生は仰います。なぜなら、承継に伴い事業実態を正確に把握することは、後継者による的確な経営の舵取りを可能にすることにも繋がるからです。

事業承継は企業の将来を左右するだけに一朝一夕に完了するものではなく、正しい手順に基づいた承継を実現するためには、経営者は早めの対応を心掛けるべき、ということがわかりやすく実践的に理解できる内容となりました。

視察研修及び忘年会

12月6日（金）に本協会、千葉県中



組合会館前にて

小企業組合士会との合同による「組合・企業視察研修」を開催し、千葉市にある「千葉鉄工業団地協同組合」及び、同組合員企業の「二宮産業株式会社」を視察しました。

千葉鉄工業団地協同組合の視察では、熊谷理事長よりご挨拶をいただき、渡辺専務理事より組合概要、活動の取組等についてご説明をいただきました。同組合は昭和37年10月26日に創立し、現在の組合員数は27社、団地全体で186,646㎡（約東京ドーム4個分）の土地を有しています。



組合説明会の様子

当組合でひときわ目を引くのは、平成6年に竣工した新組合会館と共同宿舍（テクノパレス）です。総投資額は40億円で、全国的にも類まれな大規模投資による共同施設となっています。当組合は工業団地という特性上、公共交通機関の利便性の高い住宅地と若干の距離的隔たりが存在するため、共同宿舍により従業員の居住場所の確保に力を入れ、組合員の活動を援助しています。

事業活動について、特に注目する点は安全衛生事業です。同組合は1年に1度外部講師を招聘し、作業環境測定や研修等を実施することで、第三者視点の導入により安全確保に努めています。また、福利厚生事業の一環として、

理事長による永年勤続表彰などを実施しており、組合員のモチベーション向上にも力を入れていることが窺えました。新規事業については、循環型経済社会を見据えた取り組みとして、蛍光灯や段ボールなどの共同回収事業などが実施されています。今後の課題としては、行政・関係機関との連携をより緊密にすること、安定的な資金調達をさらに強化することなどが説明されました。



企業説明会の様子

二宮産業株式会社の視察では、企業の概要説明をいただいたのちに、実際に工場内の見学を行いました。同社は建設機械の製作技術をもとに、油圧シヨベルやクレーン用のキャブ（運転室）の製造、機械式駐車装置の販売と

保守点検、解体ガラや土石などの分別・混合が可能なフリップスクリーンへの輸入販売と保守という3事業を展開しています。同社は、日立建機の約9割のキャブの製造を担っており、クボタやヤンマーとも取引を行う、高い技術力と信頼性を有する国内屈指のメーカーです。今回の視察先である千種工場では中型シヨベル向けのキャブの製造を行っており、ピーク時には1日95台、年間25,000台という生産台数を誇ります。

普段の生活ではあまり見ることのない建機製造の現場に、会員の皆様も童心に帰ったような、興味の尽きない視察となりました。



工場見学の様子

## 事務局及び会員からのイベント・行事等のご案内

本協会会員の皆様におかれましては、平素より本会の事業運営につきましてご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る9月25日、広報事業の充実を図るため、会員の皆様に広報事業に関するアンケートを実施いたしました。アンケートにご協力いただいた本協会会員組合に関するイベント・行事等をご紹介させていただきます。

### 会員組合行事等

- 小湊妙の浦遊覧船協業組合：1月1日（水）「初日の出船」（6時40分出航、大人1,200円、小人600円）
- 全千葉警備業協同組合：1月19日（日）「第70回市川市民マラソン大会」、1月27日（月）29日（水）「千葉県国民保護共同実動訓練」
- 千葉県酒造協同組合：4月11日（土）「二都三県蔵元との交流会（利き酒会）」
- 茂原卸商業団地協同組合：4月19日又は26日（日）「もばらオロシテイまつり」
- 小湊妙の浦遊覧船協業組合：5月5日（火）「こどもの日 小学生乗船無料」、6月15日（月）「県民の日 乗船料半額（千葉県在住の方）」、7月20日（月）「海の日 小学生乗船無料」

● 柏駅前第一商業協同組合：7月頃「七夕キャンペーン」

### 事務局責任者協会主催行事

「役員会」1月10日（金）ホテルポートプラザちば

「第13回通常総会」2月6日（木）15時 ホテルポートプラザちば

### 千葉県中央会主催行事

「令和2年 中小企業団体千葉県新春交流会」1月24日（金）15時30分 ホテルニューオータニ幕張

最後になりますが、本年は台風をはじめとする幾多の天災により被害を受けた皆様、会員各位に、謹んでお見舞い申し上げます。また、今なお多くの方が不自由な生活を強いられ、事業活動に甚大なる影響を受けられている事業者様も多くいらっしゃると思いますが、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

今後とも会員組合に関する様々な情報提供を行うことで、組合活動のお力添えをさせていただきたく考えております。イベント開催情報だけでなく、各組合で提供できる役務、サービス等の紹介・PRなどの情報提供もよろしくお願いたします。

（千葉県中小企業団体中央会

経営支援部 中村）